令和6年8月19日(月) 第5回 佐久の先人検討委員会 会議録(要約)

【会議事項】

(1) 第4次佐久の先人 内定者について

【事務局説明】

【質疑、意見】

委員長:親族等で連絡がついていない方が3名。3番の伴野友彦は江戸時代の人。連絡が取れなくても既に図書で紹介されている人物なので、このまま進めていきたい。 6番の北原丈衛さんご親族は引き続き探していただく。執筆は全員了承いただけたので、一斉に依頼をしていきたい。

黒沢委員:北原さんは家が近所で、ご家族は毎年お盆にこちらに来ている。連絡先は紹介できます。(後日教えていただける)

<mark>委員長</mark>:課題となったのが1番の水間良実と9番の出澤敏男さん。出澤さんはご家族 の意向でやむを得ないと思う。

<mark>新海委員</mark>:出澤さんに断られた経過を詳しくうかがいたい。

事務局: 息子さん(石橋屋)に内定になった旨をご連絡させていただいた。その際に 先人事業の経過説明と、選定にご了承をいただきたいことをお話しした。息子さんか らできればご遠慮したいとの申し出があり、理由として1点目が岩村田商店街店舗は 閉店し父の遺品も整理してしまったこと、2点目が商店街にも当時を知る人が少なく 協力が難しいとのことで回答をいただいた。

<mark>委員長</mark>:もう1人の水間良実は佐久出身か証明できないと選定は難しい。結果として 今回の内定者は15名となりますが、皆さんよろしいでしょうか。

(意義なし)

(2) 原稿の執筆依頼について

【事務局説明】

【質疑、意見】

<mark>委員長</mark>:まず原稿の量ですが、参考として本文2,000字と2,500字の見本を 出していただいた。ほとんどの人は2,000字に収まっていますか。

事務局:実際の過去53名の平均を見ると、本文が約2,200~2,300字程度になり、2,000字の人は少ないようです。2,500字になると文章が多くなり、写真を入れる余裕が少なくなります。

委員長: 2,000字の方は若干文章量が少ないようにも見える。逆に2,500字は文章だけで写真が無いという印象を与える。平均が2,200字であれば、そちらでお願いした方が良いかと思いますが皆さんいかがですか。

(意義なし)

<mark>委員長</mark>:それでは2,200字程度ということでお願いしたい。2番の早期に確認したい事項で、紹介文については事務局案とのことですが、これを映像に入れる形になりますか。

事務局:式典の詳細が固まっていませんが、映像にナレーションをつける予定ですので、文章を映像に入れ込むかは今後検討します。

<mark>篠原委員</mark>:原稿は市で買い取りになりますか。執筆者に残る形ですか。

事務局:実は過去の事業では執筆料をお金でお支払いしておらず、権利関係もお示し していませんでした。

<mark>篠原委員</mark>:今回は原稿料をお支払いしますし、買い取りを明記した方が良いと思います。 す。

<mark>小木田監修者</mark>:著作者の関係ですが、人格権など執筆者に残るものもあるので、今後 利用しやすいように確認していただいた方がいいです。

福島委員:今後原稿を進める中で、遺族親族の方とのやり取りはどのようにしたらいいですか。事務局を通すか、直接執筆者がやり取りするのか。

事務局:選定の同意をいただくにあたって、事務局から連絡をしていますので、今後もその方が良いでしょうか。

<mark>福島委員</mark>:執筆者でないと、聞きたいことがうまく伝わらなかったり、何度問い合わ せするようになってもいけないので。

<mark>委員長</mark>:一旦最初は事務局で間に入っていただいて、ある段階からはそれぞれでやり

取りしてもらっても大丈夫かと思います。全部事務局にお願いするというわけにもいかないので。

<mark>委員長</mark>:式典の紹介文ですが、この紹介文は執筆者に投げかけますか。

事務局: 執筆依頼にも添付させていただく予定ですが、現在の文章は推薦書の内容を 参考に要約しただけです。各執筆者の方に再度ご相談させていただきます。映像制作 の都合もあり、年内には内容を固めたいと考えています。

<mark>委員長</mark>:式典で紹介文が出るとすれば、原稿は別として2月までには完成していないといけない。それでは、年内を目途に執筆者の方に検討をお願いしたい。

小木田監修者:中学生でもわかりやすいようにとの趣旨ですし、例えば井出幸吉さんは「蔓延」を「流行」にするなど、リード文でも言葉の言い変えすると子どもにも伝わりやすくなります。

(3) その他 令和6年度予定(後半)について

【質疑、意見】

委員長:スケジュールですが、9月と10月は正副委員長でそれぞれモデル原稿を提示するので、忌憚ない意見をいただきたいです。11月は再度2つのモデル原稿を見ていただく形のほうが良いと思います。それ以降ですが、ご自身の執筆スケジュールに併せて、原稿を提出していただける方に順次お願いをしていきたい。1月は原稿ではなく式典の紹介文等の確認をした方がいいと思います。2月には映像のほうも確認させていただきたいです。